

ご意見

1	<p>本日の説明を聞き、MOX工場の概要について大変理解できた。安全を第一に優先し、社員は一致団結し、この事業を成功させていただきたい。</p>
2	<p>MOX燃料工場が操業して初めて核燃料サイクル事業を誘致してきた意義がある。しっかりと完成させ、安全操業に向けて努力してほしい。</p>
3	<p>原子燃料サイクルは将来の日本のエネルギー確保に不可欠なものだ。自信を持って事業を進めてください。</p>
4	<p>今の日本は物にあふれ、お金さえあれば何でも手に入れられる豊かな国になったと思います。しかし今後、中国をはじめとする東南アジアの「経済発展」に伴い、エネルギー資源の争奪戦が行われるかもしれません。そうなれば、エネルギー資源の価格は高騰し、私たちの生活を圧迫することも考えられます。だからこそいま、将来のためにしっかりと準備していく、そんなことが必要だと思います。慌ててその時にやろうとしても、できるものとできないものがあります。特に原子力はすぐにはできるものではありません。</p>
5	<p>絶対安全はないだろう。しかし安全を最大限確保するため及び事故時の影響を最小限にするために、工学的な取り組みが行われており、また運転員の教育・訓練を行い、熟練度を向上させているものと考えます。その努力は今後もたゆまなく継続されたい。将来の日本は、過去においてエネルギーを求め、まい進し、世界大戦を起こした過去のような日本であってはならない。そのためにも、自活のエネルギーを確保するべきと考える。本来、政治家は、平和国家日本の100年の大計を論ずるべきで、エネルギー問題もその一貫であると考えます。とにかく、事業者にあっては、特に現場で働く方々には、高い志と安全の確保を追求するといった強い気持ちをもって頑張してほしい。</p>
6	<p>資源の乏しい日本、あるいは将来の地球規模のエネルギー資源の枯渇のことを考えると、技術力で確実なエネルギー源を確保する原子燃料サイクルを確立することは、日本にとって大変重要なことと思います。原子力、特にサイクルはいろいろ逆風が厳しい状況だと思えますが、私達の将来の子供達、子孫がエネルギーに困ることがないように、サイクルの確立を目指して頑張ってください。</p>
7	<p>50年、100年を考えると、エネルギーを石油に依存する訳にはいかない。プルトニウム利用は避けて通れないと思う。安全第一でMOX燃料技術を確立するように進めてほしい。</p>

ご意見

8	安全を第一に優先し、社員は一致団結し、この事業を成功させていただきたい。
9	MOX燃料工場が操業に入り、サイクル事業は進展する。安全確保を着実に実施し、円滑な推進を要望する。(正に不可欠である)
10	日本がエネルギー資源の乏しい国であるという現実を踏まえれば、使用済燃料を再処理してMOX燃料を作り、再び原子力発電所で使っていくという再処理の流れは重要な課題だと私は思います。是非、長期的な視点に立って、安全を第一に将来のために取り組んでほしいと思います。
11	安全対策について十分配慮していること(臨界にならない、放射性物質を閉じ込める等)について、十分理解できた。サイクル施設の中で、生産工場は再処理工場に次いで2つ目の施設。マイナスのイメージも少ないものであり、是非、早期に立ち上げてもらいたい。
12	MOX工場が出来て初めて原子燃料サイクルが確立します。再処理工場もMOX工場が無いと意味をなさないので、速やかに安全なMOX工場を立ち上げて原子燃料サイクルを確立してもらいたい。
13	多大なる費用を投じて再処理工場を建設したので、これを一刻も早く正常な形で稼働させ、その上で早期にMOX燃料工場を建設し、完成させて所期の目的達成を期待します。
14	核燃料サイクルがないとMOX工場の意味がなくなるので、他の再処理施設を安全に操業して確実にプルサーマルを進めてほしい。
15	技術面においては信頼しています。これまでの事例では、施工、運転管理面で難がありました。協力会社、運転や製造に関わる関係者とともに確実に自信をもって進めていただきたい。
16	二酸化炭素を発生させない原子燃料を、安定的、長期的に供給してほしい。また、MOX燃料製造を自前のエネルギーとして確立させ、石油のように価格の高騰など、変動させないでほしい。
17	設計ミスのないように、あわてず確実に進めてください。

ご意見

18	再処理工場とともに重要な工場である。安全に操業できる工場の早期完成を希望する。
19	技術の開発のためには、失敗と改善を重ねていくことが当然の事だと思いますが、やはり、事故を耳にすると不安になります。本日の説明会で再三、安全、透明性について、決意のほどをお示しいただきました。日本にとって重要なエネルギーを扱うという使命を肝に命じ、本日の決意を忘れることなく、必ず成功させるという信念をもってサイクル事業を推進して下さい。
20	原子力は増大する世界エネルギー需要を満たし、同時に地球温暖化防止を図るためには必要不可欠である。天候や地域条件に左右される再生可能エネルギーだけで世界の膨大なエネルギー需要を満たせないことは明白で、原子力が当面頼りになる唯一のエネルギーである。ウランも使い捨てにしたら、あと60年。実際はあと30年といったところだろう。再処理によりリサイクルを行い、技術を定着させ、将来は高速増殖炉につなげていくのが、我々の子孫のためにエネルギーを確保する責任ある選択である。
21	資源の乏しい我が国にとって、原子燃料サイクルは重要であり、確実なチェック体制・情報公開のもと、MOX工場の建設、プルサーマルの早期実施を望む。
22	核燃料サイクル政策は、将来のエネルギー問題を解決するために重要な施策であり、MOX燃料工場はサイクル施設の中で重要な施設の一つであると考えます。今後のMOX燃料工場の建設を安全に進め、安全・安定運転につながることを期待しています。
23	高レベル管理施設の設計ミスが明らかになったことで、貴社の丸投げ体質が明らかになった。このような状況の中で、ウラン試験を強行していることは異常事態ではないか。 プール水漏えいの施工ミス、今回の設計ミスともども貴社の管理能力の不備が明白である。 この上は、施工ミス・設計ミスの総ざらいがされるまで、MOX加工施設の立地を前提にした準備作業はやめるべきではないか。
24	高レベル施設の設計ミスでは原燃の品質保証体制が機能しなかった。村民は大変不安を抱いている。MOX説明会の前に設計ミス（原因、対策、今後の方針等）に関しての説明会を設けて、十分に説明して下さい。

ご意見

25	十分に注意しても、起こり得ないことが起こりえるのが原子力施設だと思っております。プランが完璧であっても、施工・管理に漏れ（ミス）はあり得るでしょう。計算の数値は見方・捉え方によって変化します。やはり、極めて危険性の高い施設（再処理工場はもちろん）といえるのではないのでしょうか。実はそう考えている人は地元でも多いのです。
26	既に完成している施設および今後完成予定のMOX工場等のメンテナンス業務については、県内業者および団体等を十分に活用していただきたい。
27	再処理工場建設に際し、プラント関連工事の地元発注を県行政等を通じて、強力にお願いし続けたが、結果としてゼロに近い結果で終わった。今後の建設物件（MOX工場含む）については、地元業者への発注を元請メーカー等に協力に要請、指導をしていただきたい。
28	工場で300名くらい働くようですが、できるだけ県内の人を雇用してもらいたい。
29	操業にあたっては技術力と教育訓練に努めるとともに、採用にあたっては、地元から多く採用してほしい。
30	知事は作業員、社員の地元雇用を願っていますが、国家的にも重要な施設・工場ですので熟練した技術者を使ってください。これまでのトラブルは初期の工程でのミスのような気がしていますので。
31	作業者がグローブボックスに手を入れて作業するのは、メンテナンス時のみと聞いて安心した。以外と大事な部分だと思うため、今後も強調して説明してほしい。
32	グローブボックスの役割、また、グローブボックスに作業者が近寄るのはメンテナンスの時だということがよく理解できた。いままでは全ての工程がグローブボックスを使つての作業だと思っていた。
33	MOX燃料を使った原子炉とMOX燃料を使わない原子炉の運転実績でのトラブルの比較があると、MOX燃料の安全性が分かりやすいかと思う。
34	ミス、事故へ対する万全の準備と対応を希望する。
35	プルサーマル計画についてはその必要性は認めるが、重要なのはやると決めた以上、事故を起こさず放射能を外に出さないことだと思う。

ご意見

36	<p>国の原子燃料サイクル政策の議論も終わり明確になった。六ヶ所の再処理工場もほぼ出来上がっている。あとはこれまでのトラブルの反省を十分に踏まえた品質管理と、地域に信頼されるMOX工場をきちんと作っていただけるよう強く希望する。</p>
37	<p>MOX工場ができることによって、雇用も増え、交付金や固定資産税も増えると思う。技術的には、随分昔から確立しているということだし、また、国内でも使用実績があるのだから、安全を第一に積極的に進めてほしい。ただし、情報は早く正確に発表すること。</p>
38	<p>品質保証体制を確立するとあるが、どこまでの品質保証なのか不安がある。チェック体制を徹底して、事故の無いようお願いしたい。プール水漏れの問題から品質保証と何回も説明しておきながら、先日のガラス固化体貯蔵建屋で一部の設計ミスが発覚した。人間のすることだからミスはあると思うが、チェック体制のお粗末さには呆れ返る。自分の会社だったら寝る間を惜しんででも、チェック体制を厳しく強化して、このようなミスは起こさせないと思う。このようなことが続けて起きるとMOX燃料工場の建設も不安になる。私達は日本原燃が村に誘致された時から共存共栄を望んで協力してきている。私達の期待を裏切らないでください。今後、是非、目配り、気配りを徹底し、品質保証の改善、データ隠しや嘘は絶対ダメ。情報公開の徹底に取り組んで、村民に安心を与えてください。よろしくお願ひします。</p>
39	<p>説明会の資料らしく、具体的な数字をあげてほしい。</p>
40	<p>県民へのMOX燃料、MOX燃料工場についての説明、情報公開は、あまり十分とは言えないので、今後、機会をみて積極的に行ってください。期待していますのでよろしくお願ひします。</p>
41	<p>日本はエネルギー自給率が低く、原子力エネルギーを安全、安定的に活用していく必要があります。海外でのMOX燃料の実績を広く説明して頂きたい。（我が国における試験データも広く公開して頂きたい）</p>
42	<p>物事には全てに正の面、負の面があると思います。自動車、薬、食品等々いずれも正の面、負の面があります。しかし、原子力については負の面ばかりが強調され、正の部分が見逃されているのではと心配です。エネルギーの現状を見れば、近い将来、危機的な状況が来るのではと考えています。その時に備え、今から準備を進めていくことが大切であり、原子力はまさにその1つだと思います。何のために原子力、再処理が必要なのかについて、冷静な議論、大所高所に立って議論がされることを要望します。</p>

ご意見

43	日本のエネルギー自給率と今後のエネルギー確保のための展望を、分かり易く説明する必要があると考えます。ただ、風力エネルギー、水力、地熱、潮力、バイオマス等の言葉が踊るような説明ではなく、現実的な展望を踏まえた説明をお願いしたい。水素エネルギーについても多様性（分解、電解、GCRの活用等）を踏まえて、評価・説明願えると全体像がつかめるものと考えます。
44	本日の説明でMOX工場の安全性が理解できたが、今回の説明会に参加できた県民はごく一部である。今後、色々な方法で県民へ分かりやすい広報をしていただきたい。
45	一つ一つの用語が難しいため、一般県民には説明が理解し難い。（保守・軽水炉・ATRふげん等）そもそもMOX燃料工場が何をする工場かが書かれていない気がする。
46	そもそも普通の県民はMOX燃料加工工場は何が危険なのかが分からないと思う。それを示さないで対策をあげても聞いている人には分からない。（なぜ、それが安全なのか）知りたいのは住民に何が危なくて、その防止のためにどんな対策をとっているかだと思います。
47	安全対策の中には「崩壊熱除去対策」というのがあるようですが、先般発表されたガラス固化体貯蔵建屋のようなことのないようにお願いします。
48	原燃は大いに研究をして事故のないように利用することを願っています。同時に青森県がごみ捨て場にならないように。あと、処理についても種々考えて対策をお願いします。
49	原燃の説明会にできるだけ参加させていただきましたが、エネルギー資源の乏しい国でありながら、なに不自由なく過ごしているのが現実、このままではいずれ、ツケが廻って来るような気がする。国策とし原子力を選択した今、社会生活に30%以上重要な役割を果たしているとの認識を、もっと理解してもらうこと、情報公開が大切ではないでしょうか。そのためには、各地で行われている説明会の重要さは大変参考になりますが、一方で、安全に厳しくチェックしているはずが、頻繁に報道され水をさす原因不明の関連事故、今度は設計ミス、硝酸溶液漏えい。これは私たちには事の大小にかかわらず、原燃への不安につながる。賛同できなくなる。もっと安全対策を念頭におき、安全最優先に行動していただきたい。

ご意見

50	<p>エネルギーの消費が大きな問題となっている現在、原子力の利用は不可欠なものと受け止めています。再生出来るMOX燃料を大いに活用したいと考えているようですが、最近貴社における事故・トラブル等、放射能に関係したものでなくても、やはり人の心をいらだたせることが多すぎます。しっかり信頼出来るように管理を十分に、設備の点検など見落としのないように運営していただきたいと思っています。なお、説明は大変分かり易いもので、理解を深めました。安心もしました。</p>
51	<p>MOX燃料の概要については、懇切丁寧にご教示いただきましたが、私ども一般市民には、なかなか馴染めないことばかりで恐縮しております。問題は貴社のMOX燃料工場の建設や運転にあたっては、5つほどの目標を目指していますが、この目標が決して絵に書いた餅にならぬよう念には念を入れ、いざ故障や災害といった不慮の事故に対しても、決して取乱さないように、起こってしまったことに対しても事後処理で対策を考えるという、その対応にあたふたすることのないように、十分に配慮していただきたいと思います。事故の発生の対策というよりも、絶対に事故を起こさない「未然防止」に気を配り、注意に注意を重ねていただきたいと思う。</p>
52	<p>本日の資料「MOX燃料工場の概要について」ですが、文字が少なく図が多く分り易いです。以前と違い、とても良い。</p>